

令和7年度 主な事業の概要

第6次下妻市総合計画の推進

第6次総合計画に定められた「人と自然を活かし、住みよさを創るまちしもつま～住み続けたい、選ばれるまちを目指して～」の将来像のもと、6つの『まちづくりの目標』の実現に向けて予算を組み立て、総合的、計画的な市政運営を進めていきます。

※【資料説明】「ふるさと下妻寄附金を活用して行う事業」を表しています。

継続 下妻まつり事業 ふる納

1,700万円 / 商工観光課

市の活性化を推進するとともに多くの市民が楽しく交流できる「下妻まつり」を開催します。

継続 道の駅しもつま改修事業 ふる納

950万円 / 農業政策課

LED照明の計画的な交換や防犯カメラの増設等を実施し、施設の機能改善を図ります。

4 環境にやさしく災害に強い「安全なまち」 –生活、環境–

新規 雨水調整池整備事業 ふる納

1億5,050万円 / 建設課

砂沼新田地内の道路冠水対策のため雨水調整池を整備します。(面積 2,835㎡ 雨水調整池容量 1,492㎡)

新規 ソーラーパネル蓄電池照明更新事業 ふる納

150万円 / 消防防災課

基幹避難所に設置されているソーラーパネル蓄電池照明を更新します。

新規 スポットクーラー導入事業 ふる納

300万円 / 消防防災課

基幹避難所である市内小中学校体育館にスポットクーラーを導入します。

新規 避難所物資強化事業 ふる納

364万円 / 消防防災課

災害対応力増強のため、避難所に備蓄してある食料及び水を定期的に更新します。また、新たにトイレトペーパーを備蓄します。

拡充 自主防災組織補助事業 ふる納

90万円 / 消防防災課

自主防災組織が整備する資機材等整備費や実施する防災活動事業に対し補助金を交付し、防災力の強化を図ります。

継続 ふるさと納税推進事業 ふる納

9億7,436万円 / 農業政策課

ふるさと納税を通じて、市の魅力を知ってもらい、市全体の活性化につなげます。(寄付額18億円に対する返礼品等の推進事業費)

5 自然と都市が共生する「快適なまち」 –都市基盤–

継続 下妻つくば連携バス実証運行事業 ふる納

2,306万円 / 企画課

つくば市コミュニティバス「つくバス」の下妻市内乗り入れに合わせて、下妻駅からやすらぎの里しもつまを結ぶコミュニティバスの実証運行を実施します。

継続 地域連携公共ライドシェア事業 ふる納

1,389万円 / 企画課

公共交通空白地域解消のため、つくば市、土浦市、牛久市との連携によりドライバーバンクを構築し、人材の募集・育成・管理を行います。育成したドライバーが専用アプリで利用者とマッチングし、自家用有償旅客運送を行うことで公共交通が不足する地域の移動を支援します。

継続 道路整備工事 ふる納

7,100万円 / 建設課

交通の安全、道路網の整備、また生活環境の向上のため、計画的な整備を図ります。(南部環状線等)

継続 コミュニティバス運行事業 ふる納

シモンちゃんバス **1,521万円**
筑西下妻広域連携バス **2,797万円** / 企画課

運賃収入や国補助等により、便利で持続可能なバス輸送を継続して行います。

6 市民と共に次世代を築く「自立したまち」 –市民協働、行財政運営–

新規 自治体情報システムの標準化・共通化事業 ふる納

1億2,485万円 / DX推進課

自治体情報システム(住民情報系システム)を国の示す標準化・共通化に準じたシステムに改修し、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ移行します。

新規 電子入札システム導入事業 ふる納

550万円 / 財政課

従来の紙による入札情報(調達案件内容)の入手や、入開札までの一連の行為と制度的に同じことを手元のパソコンからインターネットを介して行います。

継続 スマホ市役所事業 ふる納

314万円 / DX推進課

市公式LINEを使いオンラインで行政手続を行うことができるサービス(スマホ市役所)を提供します。

継続 スマートフォン購入補助 ふる納

50万円 / DX推進課

シニア世代がマイナンバーカード等の読み取り機能の付いたスマートフォンを新規購入する際、一人あたり2万円を限度に補助金を交付します。

1 誰もが健やかに暮らせる「安心なまち」 –子育て、医療、社会福祉–

新規 带状疱疹ワクチン接種事業 ふる納

730万円 / 健康づくり課

带状疱疹の発症またはその重症化防止を目的として、65歳の方等を対象に带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成します。

新規 高齢者補聴器購入費助成事業 ふる納

90万円 / 長寿支援課

加齢による聴力低下のため日常生活に支障のある高齢者に対し、補聴器の使用を促進することで、社会参加の促進、認知症の予防等に資することが期待できるため、補聴器購入費用の一部を助成します。

拡充 妊産婦・乳児健康診査事業 ふる納

3,980万円 / 健康づくり課、子育て支援課

安心な妊娠出産と妊産婦の健康管理及び乳児の健康状態や発育・発達を確認するため健康診査を行います。令和7年度からは生後1か月児及び5歳児健診を追加します。

拡充 日常生活用具給付等事業 ふる納

941万円 / 福祉課

障害のある人が自立した生活を送るため、給付または貸与する日常生活用具として、新たに発動発電機と人工内耳用電池の給付をメニューに追加します。

継続 妊産婦・未就学児の医療費無料化事業 ふる納

1,800万円 / 保険年金課

マル福制度における医療費自己負担金について、市独自に助成を行います。

継続 保育料軽減事業 ふる納

2,600万円 / 子育て支援課

子育て世帯への経済的負担の軽減を図るため、3歳未満の児童の保育料を減額しています。

2 人と文化を育む「心豊かなまち」 –教育、文化–

新規 中学校給食費無償化事業 ふる納

5,219万円 / 教育総務課

生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、中学校給食費の無償化を実施します。

新規 大宝公民館体育室照明設備LED化工事 ふる納

1,311万円 / 公民館

体育室の照明設備をLED化し、施設を快適に利用出来るようにします。

新規 市スポーツ少年団暑熱対策事業 ふる納

125万円 / 生涯学習課

記録的な暑さに対応するための費用が高んでいるスポーツ少年団を対象として、暑熱対策費用に対する補助を行います。

継続 英語検定料補助 ふる納

267万円 / 学校支援課

実用英語技能検定(英検)の受験者(小学生及び中学生)に年1回、検定料の全額(1級～3級)または半額(4、5級)を補助します。

3 にぎわいと活気を生み出す「活力あるまち」 –観光、産業振興–

新規 市特産米栽培推進支援事業 ふる納

227万円 / 農業政策課

市特産米である主食用米「ミルクークイーン」について、下妻ブランドの強化を図るため、作付面積の拡大及び生産量を増加することを目的に、資材費等の一部を支援します。

継続 果樹園地継承事業 ふる納

176万円 / 農業政策課

梨の新規就農を目指す研修生が技術を習得するまで、離農者の梨園地を下妻市果樹組合連合会が管理し、梨の独立就農を支援します。